

法事とは、故人の冥福を祈り、霊を慰める為の行事です。

故人の供養のために行われるもので、仏教用語で【追善供養（ついぜんくよう）】と言います。

故人があので良い報いを受けられるように祈り、供養するものです

最近では、法事と法要は同じ意味として使われていることも多いですが、

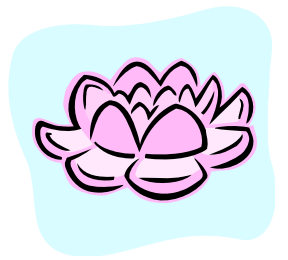
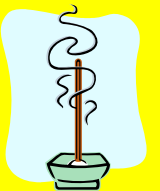
正確には「法事」とは法要を含むその後の会食【お斎（おとき）】の席など全体の事を言い、

「法要」とは住職に読経してもらうことをいいます

お斎（おとき）とは法要のあとの食事会のことを言います

僧侶や参列者へのお礼の気持ちを込めたお膳であると同時に、一同で故人を偲ぶ為の行事です

追悼法要		
七七日 四十九日	49日目	遺族・親族・友人・知人などで忌明けの法要を行い、お斎をします この日が忌明けとなります ※宗派や地域により、五七日・三十五日に忌明けの法要を行い 忌明けとなる場合もあります
年忌法要		
一周忌	満1年目	遺族・親族・友人・知人などで法要を行い、お斎をします 初七日法要と同規模で行われることが多いです 一周忌は『年忌法要』の中でも最も大切な法事です この日をもって喪が明けることとなります
三回忌	満2年目	遺族・親族・友人・知人などで法要を行い、お斎をします
七回忌	満6年目	規模は一周忌より縮小されることが多いです
十三回忌	満12年目	
十七回忌	満16年目	遺族・親族で法要を行います
二十三回忌	満22年目	三十三回忌、または、五十回忌をもって
二十七回忌	満26年目	吊り上げ（年忌法要の終了）とすることが通常です
三十三回忌	満32年目	



菩提寺に連絡し、日時を決めます
法事に必要な物を伺っておきましょう



生花・供物・料理・引出物等の手配
料理・会食会場の手配は早目にしましょう
法事案内状の作成・配布



料理などの個数は遅くとも三日前迄には確定させましょう



当日、忘れ物の無いように気を付けましょう

お困りでしたら
ご相談ください

